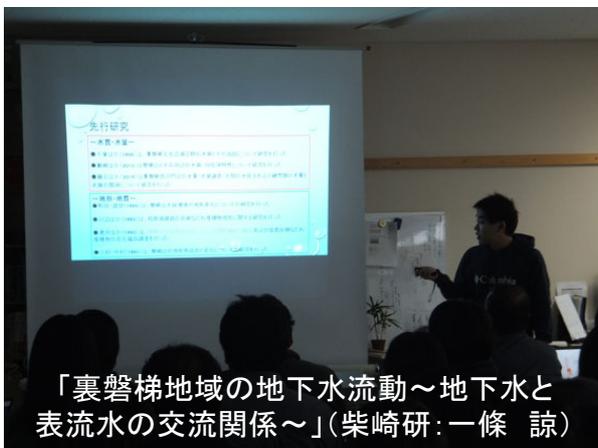


第2回談話会報告

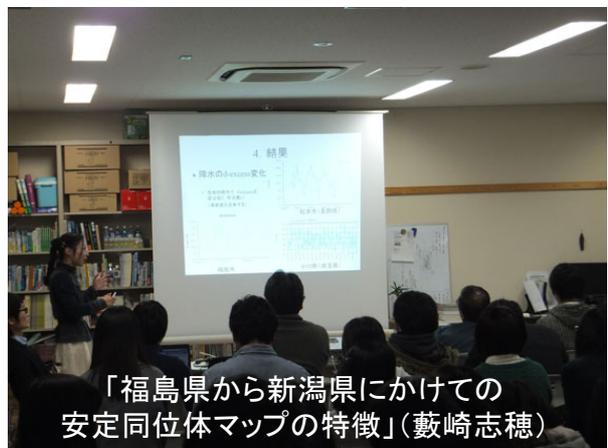
プロジェクトの今年度第2回目の談話会が2015年12月21日（月）に開催されました。授業も終了し、冬季休業期間に入ったため、午前（10:00-12:10）に水・地球環境系、午後（14:00-16:30）に生物・計画系の発表と1日じっくり、ゆっくりと話を聴く会となりました。プロジェクトのメンバー、大学院生・学類生等が午前は54名、午後は51名参加しました。なお、17:30からは毎年恒例の大忘年会が開催されましたが、こちらは60名が参加し、大盛会となりました。

今年度はプロジェクトの最終年度です。年度末には4年間のまとめとして、研究成果に基づく20本の論文と裏磐梯・猪苗代地域の自然環境の維持・保全・管理に関する2本の提言からなる書籍を出版します。

【午前の部:水・地球環境系】



「裏磐梯地域の地下水流動～地下水と表流水の交流関係～」(柴崎研:一條 諒)



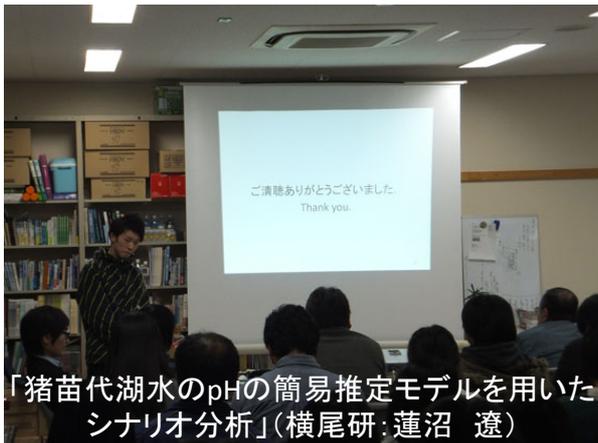
「福島県から新潟県にかけての安定同位体マップの特徴」(藪崎志穂)



「裏磐梯毘沙門沼における水温プロファイルと水質測定による湧水地点の推定」(柴崎研:金子翔平)



「裏磐梯・猪苗代集水域における水収支」(柴崎直明)

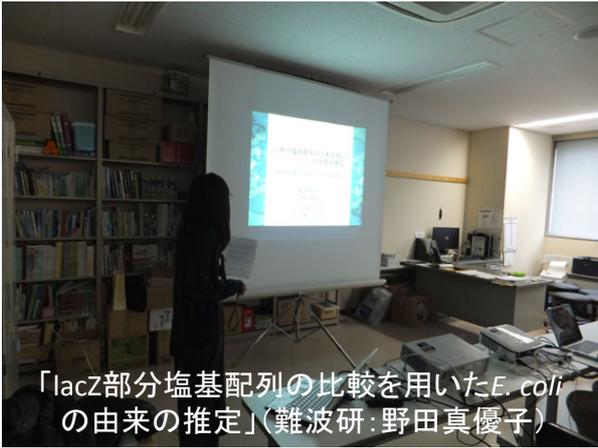


「猪苗代湖水のpHの簡易推定モデルを用いたシナリオ分析」(横尾研:蓮沼 遼)



1題あたり20分程で発表・討論が行われました。

【午後の部:生物・計画系】



「lacZ部分塩基配列の比較を用いたE. coliの由来の推定」(難波研:野田真優子)



「裏磐梯の来訪者の特性把握に向けた調査の結果(2015年版)」(川崎研:松崎祐樹)



「銅沼に初めて定着した水生維管束植物と風景写真を用いた分布拡大時期の推定」(黒沢研:首藤光太郎)



「五色沼自然探勝路の来訪者に関する詳細調査の結果報告」(川崎研:五十嵐悠貴)



「文献や資料にもとづく裏磐梯高原泥流上の乾性植生遷移の推定」(黒沢高秀)



「DNA解析における4年間の成果および今後の展望」(兼子伸吾)



「噴火を免れたブナ林から泥流上にかけての植生」(木村勝彦)



プロジェクト室がぎっしりと人で埋まりました。

この他、「裏磐梯地域の昆虫相に関する4年間の成果と今後の展望」(塘 忠顕)の発表がありました。